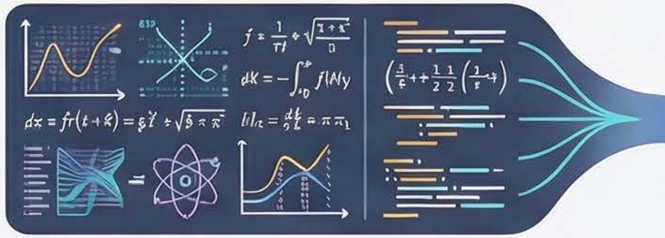
「AIがAIを育てる」時代へ：Gemini 3が次世代モデルGemini 4を構築する仕組み

Googleの次世代AI「Gemini 4」は、その前身である「Gemini 3」自身が開発に深く関与するという画期的な方法で構築されています。
これは、AIが自らの後継者を「育てる」という、自己進化型システムの時代の幕開けを意味します。

Gemini 3

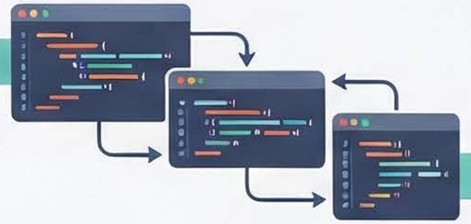
❶ 合成データを生成し、「完璧な」教材を作る

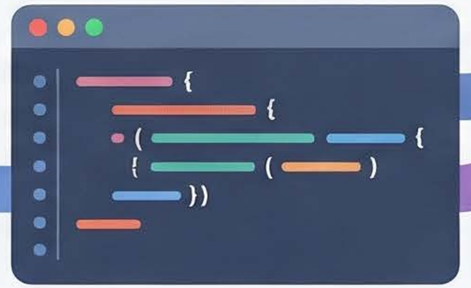


人間では生成困難な、質の高い数学的証明や科学的推論データを大量に作成し学習させる。

❷ エージェント型コーディングで、開発を自動最適化する

トレーニング基盤の複雑なコードを自ら記述・最適化し、処理効率を向上させる。





❸ RLAIFにより、AIがAIを監督・評価する

人間の代わりにGemini 3がGemini 4の出力を評価し、大規模な改善を可能にする。

Gemini 4

自己進化が拓く未来：新時代のAI開発とその先

AI開発の新しいパラダイム

人間は「建築家」として目標を設定し、AIが「建設者」として実装を担う役割分担へ。

Gemini 4に期待される飛躍的な能力向上

博士レベルの推論能力、自律的なタスク実行、より高度なマルチモーダル処理を実現。

継続的な進化サイクルと「モデル崩壊」のリスク

Gemini 4がGemini 5を開発する未来。AI生成データによる品質劣化の懸念も存在する。

NotebookLM